

安定したパフォーマンスの LC/TQ プラットフォームを用いた 精査されたターゲットオミクスのワークフロー

Agilent LC/MS ソリューション



シンプルなワークフローによるターゲットオミクス研究

アジレントの安定したパフォーマンスをもたらす LC/TQ プラットフォームで、ターゲットオミクスを強化できます。

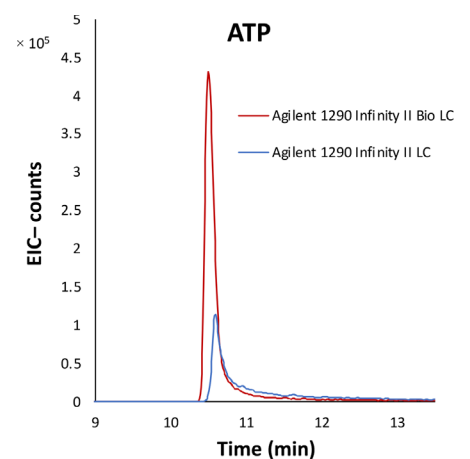
アジレントの最新の LC/TQ 技術により、一次代謝物、脂質、ペプチドの大規模なマルチプレックスターゲットリストが作成でき、生物学的知見をさらに深めることができます。

安定した LC/MS 測定

多くの代謝物は、液体クロマトグラフィーの金属相互作用の影響を受けやすく、ピーク形状や感度が低下します。Agilent 1290 Infinity II Bio LC システムは、流路の表面を不活性状態にして代謝物の相互作用を低減し、安定した LC/MS オミクスプラットフォームを実現します。

アジレントの安定したパフォーマンスをもたらすプラットフォームにより、最小限の労力でアプリケーションを切り替えることができます。

[詳しくはこちら](#)



1290 Infinity II Bio LC システムで実現できる堅牢なメタボロミクス、リポドミクス、 プロテオミクスワークフローのご紹介

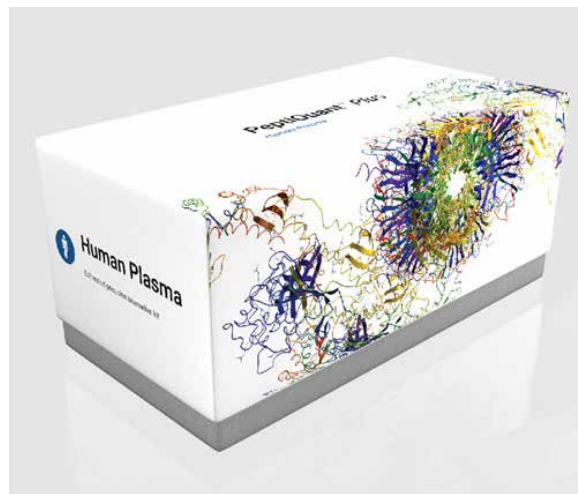
MRM ベースの LC/TQ 分析を用いた血漿中のペプチドの定量

MRM プロテオミクスの PeptiQuant Plus キットは、メタボロミクスやリポドミクスで日常的に使用しているのと同じシステムを使用することで、プロテオームへ簡単に移行できます。使いやすく、堅牢性と再現性に優れ、定量性の高いこれらのキットは、アジレントの安定したパフォーマンスが得られる LC/MS プラットフォームと互換性があり、マルチオミクスデータをオールインワンシステムで提供できます。

MRM プロテオミクスの詳細はこちら

[これらのキットをワークフローに組み込む方法についてはこちら](#)

[プロテインサンプル前処理の詳細はこちら](#)



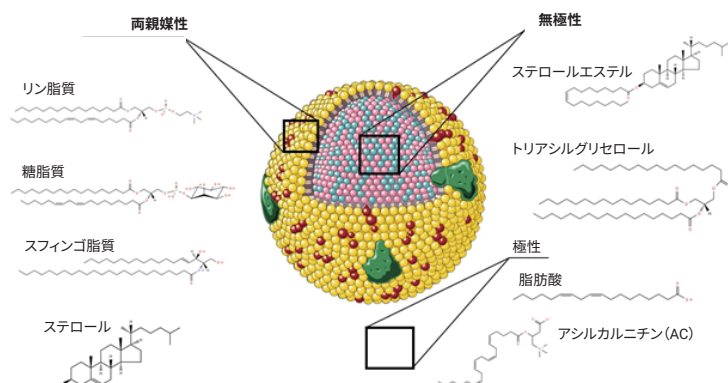
リポドーム分析用の包括的なハイスループットメソッド

大規模コホート研究において堅牢な結果を得られるように設計されたこのメソッドにより、リポドームの全体像を把握することができます。このメソッドは、高度に精査された数百の脂質ターゲットを備えており、疾病状態や脂質代謝に関するより深い知見を得られます。また、アジレントの LC/TQ へ簡単に適合できるプロトコルを使用しています。

このワークフローには、以下の項目に関する考慮事項が含まれています。

- サンプル前処理と脂質抽出
- 品質管理戦略
- 内部標準物質
- 機器条件
- データ処理

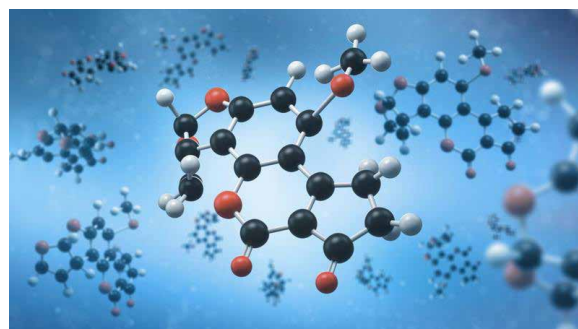
詳細はこちら



ターゲットメタボロミクス用の HILIC メソッドと データベース

一次代謝パスウェイのカバレッジに注目して、高度に精査された包括的な親水性液体クロマトグラフィー (HILIC) メソッドにより、メタボロミクス分析を即座に開始できます。アジレントのソリューションを使用した堅牢なワークフローには、自動化サンプル前処理、LC/TQ のメソッド、ヒントやコツ、代謝物データベースが用意されており、あらゆるラボで簡単に導入できます。

ワークフローはこちら

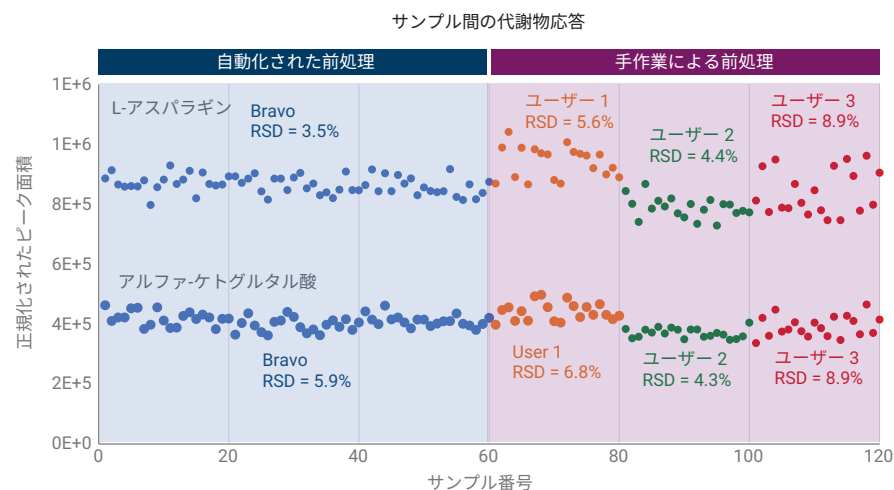


半自動化デュアル細胞サンプル前処理ワークフロー

半自動化デュアル細胞サンプル前処理ワークフローで、同じサンプルから代謝物と脂質を高い再現性で回収でき、ラボの生産性が向上します。安定したパフォーマンスをもたらす LC/MS ワークフローに対応するこのメソッドには、次のような特長があります。

- 手作業よりも前処理の再現性を向上
- 有資格のラボメンバーを他の重要な作業に開放
- 大規模コホート研究を実施可能

ワークフローの詳細はこちら



アジレントアプリケーションノート 5994-2156EN から引用した図



Agilent LC/MS ソリューションの詳細については、
こちらの[ウェブサイト](#)をご覧ください。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

RA45407.603287037

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2024

Printed in Japan, March 22, 2024

5994-7447JAJP